



2025 年 7 月 10 日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし

〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19

TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386

清瀬事業所/ふわっとな

〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18

TEL&FAX:042-497-9481

<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

学習の時間。皆で和気あいあいと取り組んでいます。



主任相談支援専門員
佐藤 幸雄

サステナブル

皆様最近よく目にするサステナブルとは、知っている人も多いかと思いますが改めて考えていきたいと思っています。

サステナブル (Sustainable) は、sustain (持続する) と able (できる) からなる言葉です。「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味があります。「サステナブル (Sustainable) な社会」とは、「持続可能な社会」を意味します。それは、地球の環境を壊さず、資源も使いすぎず、未来の世代も美しい地球で平和にずっと生活を続けていける社会のことです。しかし、その実現は容易なものではなく、地球温暖化の問題、経済活動によるCO₂の排出量の急増、地球温暖化により、集中豪雨や高温などといった異常気象を引き起こすなど、各国で深刻な影響が出ています。

また、地球人口の急増も問題視されています。2015年に約73億人だった人口が、発展途上国での急速な人口増加によつては2100年には約110億人に達するという予測も出ています。地球上の人口が急激に増え続ければ、さらに環境破壊などを引き起こすことが予想されます。

こうした問題を考えるだけでも、人類が豊かに生存し続けるための基盤である地球環境は限界に達しつつあります。そんな危機から脱し、「サステナブルな社会」を実現するために、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) が立ち上がりました。2016年から2030年までの

15年間に17の目標と169のターゲットを達成し「誰一人取り残さない」を目標にしています。

私たち龍鳳の取り組みの中でもSDGsを推進しており特に、「すべての人に健康と福祉を」「働きがいも経済成長も」「人や国の不平等をなくそう」という取り組みをしています。

自治会の資源回収の協力、地域防災訓練の開催、妊婦さん体験、フードドライブの設置、地域サロンでの販売、東日本震災被災者支援として自治会とわかめ等の共同購入をしています。近隣住民に挨拶へ行き、自主製品のお菓子やポストカードなどを配り、ご意見などを伺い交流を深めています。

このような交流を図ることでお互いのこと知り、共通の話題で、たくさんの方の笑顔に出会えます。また地域の新たな一面を知ることが出来る良い機会となっています。

地域の学生の職場体験や福祉、保育の実習、行事にボランティアさん参加、地域と共同での余暇やイベント活動、利用者さんの雇用の促進として、求められる業務を障害者の特性に合わせてマッチングした販売会や草取りなどしています。協力しながら働くことによって「ありがたい」と感謝される喜びややりがいに繋がっています。

こうした取り組みは地球を持続可能にする1歩であり、その1歩は誰かに良い影響をもたらし、人類の未来を描けるものであると信じて続けていきます。

写真についてはご本人（代理人又は成年後見人）の同意を得て掲載しております。



2025 年
7 月 17 日 (木)
14:00~16:00
@Cafe ふわっとな
里親制度の説明会が
あります。
ご興味ある方
の参加お待ち
しております。

お申込はこちら



里親ってなに？
参加無料!!
カフェ相談会
東京都里親制度説明

里親制度って？私にもできるかな？制度について存じない方にも、カフェのリラックス空間で東京都の里親制度について分かりやすく制度のご説明をします。里親制度の説明後は質疑応答や個別相談も可能です。カフェのリラックス空間で里親制度について聞いてみませんか？お一人やご友人、ご家族、などお気軽にご参加ください。

清瀬駅北口から徒歩約8分、「カフェふわっとな」は、国産小麦を使ったパンや手作りスイーツが人気の温もりあふれるカフェ。赤ちゃんからお年を召した方までくつろげるバリアフリー対応。トイレはベビーシートも設置されています。店内はゆったりと落ち着いた雰囲気で、地域の憩いの場として親しまれています。

店舗名：cafeふわっとな
会場：東京都清瀬市上清戸1-15-18
日時：2025年7月17日(木)14:00～16:00
内容：・東京都の里親制度説明15分
・質疑応答15分
定員：3家庭（6名様）まで
申込先：キアセット(042-314-9031)

夏にぴったりなアイスコーヒーや、温かい紅茶などお好みのドリンクを飲みながら、里親制度について話を聞いてみませんか？



ねえねえ、きいて



生活支援員 江嶋 響

A さんのエプロンの紐がねじれていることに気づいた B さん。「ねじれてるよ」と優しく声をかけて直していました！A さんからも「よく気が付いたね、気が利くね。ありがとう！」と感謝の言葉があり、嬉しそうな B さんでした😊
A さんの丁寧な言葉掛け&B さんの観察眼が素敵なやり取りでした！



キラリ☆と光るこの一枚





たくさん身体を動かして、今年の夏も元気に乗り切るぞ～！！☀（シルバーゲームの様子）
（大鹿 真利会）

働くということ

今年度より実習課配属になりました。こぶしでは、年間を通して約 20 名ほどの実習生が来ています。私も 2 年前のちょうど今頃に、実習生としてこぶしで実習を行い、それを通して、「もっと深く利用者さんに関わっていきたい！」と仕事内容にやりがいを感じ、私自身保育科の学校出身でしたが、福祉職であるこぶしに入職を決め現在に至っています。

そこで急にですが、皆さんは、働くにつれて何を 1 番重視していますか？職員間の関係、働きやすさ、家からの距離等、様々な理由があると思います。実際、とある「就職先の決め手ランキング」のサイトを見ると、1 位は私がこぶしに入職した理由と似ている「仕事内容のやりがい」という項目でした。なので、これから来る実習生にも 2 年前の私のように、実習を通してやりがいを感じてもらい、「こぶしで働きたい！」と言ってもらえる実習生が 1 人でも増えるように、実習生に寄り添い、全力でサポートしていきます！

生活支援員 前川 慈弦

フォトニュース ～6月の様子～

♪日帰り旅行♪～川越散策～



日常あれこれ



お知らせ

次の通りご寄付をいただきました。
・ライフパートナーこぶし保護者会

240,000 円

頂いたご寄付は大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



☆こぶしボランティア情報☆

ボランティア
募集中

こぶしボランティア担当の佐藤です😊

度々こちらにはお邪魔させて頂いていますが、本日もボランティア情報を失礼致します！

8/2(土)夕涼み会 近隣の学校でのお祭りに利用者さんと参加

11/1(土)こぶし祭り 施設内のお祭りの物販や利用者さんと参加等

以上の行事ボランティアを募集しています！

是非、興味のある方は

ライフパートナーこぶしボランティア担当：佐藤までご連絡ください。

【連絡先】☆メール☆kobushi@fukushiryuhoh.or.jp ☆電話☆042-470-2385



梅雨に思う

この記事を書いている6月下旬は、高気圧の影響で梅雨前線が一時的に消え、とてもこの時期とは思えない真夏のような暑い太陽が照り付ける1週間を過ごしたかと思えば、ふいに梅雨前線が復活して激しい雨が降るという、自然にも身体にも厳しく目まぐるしい天気が続いています。

晴れ間の続いた最初のうちは、洗濯物もよく乾くしやっぱり梅雨より毎日晴れている方がいいなどと都合の良いことを考えていましたが、いざ厳しい暑さの晴天となると、降るべき時に雨が降らないということは水不足になるのではないかと、野菜や作物（特にお米）の生育に悪影響が出るのでは、熱中症の危険性が・・・と心配なことが増え、のんきな気持ちでいられなくなりました。

このように、私たちの身の回りで起こる出来事や社会の様々な問題には、常に多面的な側面が存在します。一見単純に見える事柄も、立場や視点を変えて見れば、まったく違った意味を帯びることが少なくありません。例えば梅雨は雨をもたらすことで水資源の確保、植物の生育に必要な水分供給、空気の浄化、紫外線量の減少や、湿度があがることで皮膚が潤うなど良い面がある一方で、多雨となることで湿度の上昇や気圧の変化による体調不良やカビの発生、日照不足による植物の生育不良、病害虫の発生リスクも上昇します。また日常生活の上でも、良かれと思ってやったことが他の誰かには意に染まぬことだった、困った出来事が発生したが、誰かの利となっていたなど、その出来事を捉える主体によって、事象は善悪・利点欠点など様々に変わります。何かを「良い」「悪い」と一面的に判断するのではなく、その裏側にあるもう一つの側面を理解しようとする姿勢が、生活でも仕事の上でもとても大切だと、激しく変化する梅雨空を見ながら今まで以上に痛切に考えさせられました。

日々の選択や行動を行う際には、表面的な情報だけでなく、その背景や他者への影響にも目を配り、物事を多角的に捉える努力が求められると考えます。そのような思考を重ねていくことで、自身の価値観が豊かになり、より納得のいく判断や行動へとつながっていくのではないのでしょうか。

異例の早さで西日本が梅雨明けするなど、過ごしやすい季節が年々減り、寒暖の極端化が進んでいるように感じられる今の気候に向き合う姿勢も、自分の捉え方次第なのかもしれません。

総務事務部部长 大神田 千恵



「また来たい」と思える場所に

先日、念願だったキッザニアに家族で遊びに行ってきました。そこは子どもが楽しみながら本格的な職業体験ができる施設で、親は遠くから見守るだけ。子どもたちはさん付けで呼ばれ、お給料まで受け取ります。スタッフの方の声掛けはどれも肯定的で、見ている親の私まで「また来たい」と思える場所でした。

さて、こぶしでは主に保育を学ぶ学生を実習生として毎年受け入れています。学生にとって、福祉の現場は少しイメージしづらいこともある為、安心して臨めるよう丁寧な説明を心がけています。現場では利用者さんへの声掛けや接し方など、私たちのふるまいや声掛けが学びの材料となり、学生にとっての“見本”となります。利用者さんとの関わりを一つひとつ楽しみながら、良い手本となるよう日々過ごしていきたいと思っています。

実習生に寄り添い、「こぶしで実習して良かった」「また来たい」と思ってもらえるような実習をこれからも届けていきたいです。

生活支援員 増田 沙織